

# 令和2年度事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人日本環境保全ボランティアネットワーク

## 1 事業の成果

第12期は、コロナ禍ということもあり例年実施してきた「環境保全活動リーダー講座:Conservation Volunteer Institute (CVI)」の実施を見送った。また、その他の講座、合宿事業なども影響を受ける結果となった。このような状況を受けて、主催事業として「リーダートレーニング研究会 -online-」に力を入れ、また、会報「Conservation Volunteers」の発信を行った。

「環境保全ボランティア活動事業」では、例年実施している里山80日ボランティア(山村塾)は中止された。

「環境保全活動人材育成事業」について、コロナ禍であるため、従来実施してきた対面での「環境保全活動リーダー講座:Conservation Volunteer Institute (CVI)」は実施しなかった。

「国内・海外の環境保全活動団体の連携強化及び活動支援事業」では、オンラインでの「リーダートレーニング研究会 -online-」を主事業として実施し、年度中に3回を開催した。延べ34名が参加した。このほか、県内外のボランティア講座に対し講師派遣や運営協力を行った。

「環境保全の普及啓発や調査研究事業」では、会報を計2回発行し、延べ1,000部を関連する個人および団体へ送付した。

主催2事業の概要は以下の通り。

### <リーダートレーニング研究会 -online->

JCVNの人材育成資源を用い、内外に向けて有料の会を3回実施した。研究会のねらいは、環境保全や災害支援などのボランティア活動をより「安全でやりがいのある」ものにし「現場リーダー」を増やすこと。「現場リーダー」の育成を行う「トレーナー」の情報交換とスキルアップを行うこと。そして、JCVNの会員の増加を目指すこととした。

<第1回>「『新型コロナ』で変わったこと、変わらなかったこと」

<第2回>「『農ボラ』がイザという時の備えになる」

<第3回>「安全管理の意識をつくる事故事例研究」

### <会報「CONSERVATION VOLUNTEERS」発行事業>

環境保全活動や人材育成についての事例やノウハウを社会に発信することで、各地によりよい環境保全活動を広める。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(円)
①環境保全ボランティア活動事業	(共催)					
	里山80日ボランティア	実施せず				0-
②環境保全	(主催イベント)					

活動人材 育成事業	環境保全活動リーダー研修・共通コース	実施せず				0-
	(講師派遣)					
	緑地環境実習 (主催：九州大学)	令和2年 9/28-30	九州大学大橋キャンパス、および笠原東交流センター「えがおの森」(八女市)	1人	九州大学学生38名	0-
	(協力)					
	令和2年度福岡県森林づくり活動安全講習会 (主催：福岡県、企画運営：山村塾)	令和2年7月 ～令和3年3月	福岡市・北九州市・八女市・久留米市	1人	受講者延べ121名	0-
③国内・海外の環境保全活動団体の連携強化及び活動支援事業	(主催イベント)					
	リーダートレーニング研究会 (-online-)	令和2年 10/29、11/12、 11/26	Peatixで募集。Zoomを用いオンラインで実施	5人	10/29(9/13名)、11/12(6/12名)、11/26(6/9名)	95,330円-
④環境保全の普及啓発や調査研究事業	(会報の発行)					
	Conservation Volunteers Vol.22～23	発行日： 令和2年 7/29、令和2年 12/23	全国	7人	環境保全活動に関心を持つ人 500部、500部＝計1000部	66,487円-
⑤災害時の被災者の救援や生活支援及び復興事業		実施せず				0-

(2) その他の事業  
実施しなかった。